



(3. 1) b. 信徒司祭間の緊密な協力)

[項目のねらい]

信徒奉仕職を生かした奉仕する教会となるために、司祭・信徒がともに働かなければならぬ

ことを確認する。(「12.」参照)

◇分ち合いのポイント

・質問内容とあわせて、前項「13.」にあげられている、奉仕職理解の要点②～④も確認し

たうえで振り返り、分ち合う。

15. どんな力を身につけなければならぬのでしょうか?

(3. 1) c. 養成の推進)

[項目のねらい]

奉仕がより豊かなものとなるために、信徒・修道士・司祭それぞれの養成において、特に留意する必要があると考えられる4点について確認する。

◇分ち合いのポイント

・第一の質問の奉仕職を担うときの課題は、時間的な都合や家族との関係などの具体的な問題ではなく、自分の信仰のあり方、性格的な問題、周囲の人との人間関係などで、自分でとって苦手なところについて振り返る。

・分ち合いは、第一・第二の質問を合わせて行ってもよい。教会の全体的な傾向についての感想を中心とし、個人的な問題を無理に分ち合う必要はない。

・第三の質問では、前記の分ち合いをもとに、実際に奉仕職を担うときに必要な心がけが身に付くような養成の方法を考えてみる。

・第三・第四の質問にある「取り組みや養成」「支え合い」については、いつ・どのようなメンバーが・どのような方法でやればよいか、できるだけ具体的に、自分が属する場において実現可能な方法について考えるようにする。